

大阪市の力活かしてこそと寄せられるコメント



みんなの力で大阪市をよみがえらせよう

山中 智子さん 日本共産党大阪市議

コロナ禍という悪環境のもと、多くの市民の方が「大阪市をなくしていいのか」を真剣に考えておられることをひしひしと感じます。大阪市廃止がどれだけの不幸を住民にもたらすのかを伝えぬき必ず勝利を。そして、なくさずに残した大阪市を、二度とムダ遣いをせず、税金は市民の命・くらし・営業最優先に使うとともに、地域の問題については住民の声を取り入れる「住民自治」豊かな大阪市に、みんなの力でよみがえらせましょう。



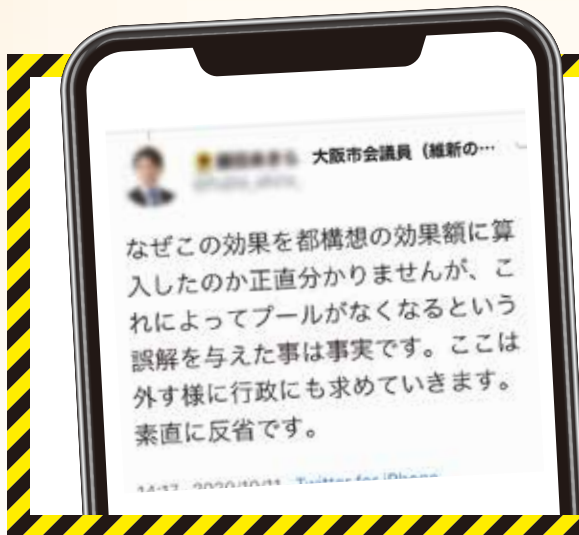
わざわざ型体をかえなくても

わかぎ 晃ふさん 劇作家・演出家・エッセイスト

都構想が前向きな改革だ！と言うのなら、わざわざ型体を変えなくても、今の体制で改革できるようにする事が政(まつりごと)じゃないでしょうか。

初めて勤めた会社の上司が「ダメな上ほど席替えさせたり、営業時間変えたり、すぐに形を変えたがる。やったった感が出るんやろなあ」と言ったのを思い出しました。

大阪人に愛着のある住所を変えさせ、新しい名刺を作らせ、余計な税金を使う必要性を感じないので、私は反対させていただきます。



住民サービス削減の記述を認める

—— 維新議員 ——

「特別区」の「財政シミュレーション」(8月11日)には、市民プールや子育てプラザ、老人センターで17億円削減が記述され、市民サービス切り捨てへ怒りが広がるなか、維新はこれを「デマ」だと言い訳にやっきです。ところが、維新議員がツイッターでその記述の事実を認めています。



咸臨丸入港百年記念碑



サンフランシスコ市のリンカーン・パークに、1960年、大阪市が贈った『咸臨丸入港百年記念碑』があります。「日米修好通商百年記念」に両国の親善促進へ、大阪市が「姉妹都市サンフランシスコ市」に贈りました。

1957年、アイゼンハワー大統領が【国と国ならイデオロギーの対立もあるが、人と人なら違う。自治体を基礎にした交流を】と提唱。両市は互いに「姉妹都市」第一号でした。

これを、「慰安婦像」が気に入らないと2017年、一方的に解消したのが吉村市長(現知事)。サ市のブリード市長は「1人の市長が、2都市の市民の関係を一方的に解消することはできない。サンフランシスコと大阪の姉妹都市関係は人々のつながりを通じてなお続けている」と語りました。